



まちづくり協議会の具体的な活動について
～ボランティア活動から
+コミュニティビジネスによる地域運営へ～

株式会社農楽（NOUGAKU）
代表取締役 西村俊昭





Nishimura Toshiaki Biography

>>1965 大阪市北区中津に生まれる

>>1988 愛媛大学農学部農業工学科卒

>>1989 建設コンサルタント入社
農村計画をベースに
農業農村整備事業計画、地域計画、都市計画
環境計画、自然エネルギーの計画、合意形成
など

>>2007 地域密着型のむらづくりコンサルタントを目指し
会社を辞め、農楽を設立、
東近江・甲賀圏域で移住先を探す

>>2008 滋賀県にIターン、農楽を法人化



株式会社
資格

株式会社農楽 代表取締役
技術士（農業部門）、観光プランナー
バイオマス利活用アドバイザー

NPO法人

バイオマス利活用推進会議 理事
甲賀のんべえ倶楽部 理事
国土再編研究所 監事

任意団体

A J A 監事（障がい者就労支援の作業所）
TEAM CHAKKA 代表
ひがしおうみ市民共同発電所2号機組合 副代表
甲賀市大原自治振興会 まちづくりPJ副リーダー
撤退の農村計画 会員

その他

SOYORI 世話人
拡大ふくしモール メンバー
日本有機資源協会 会員
愛のまちエコ倶楽部 会員



地域運営組織への支援業務の主な経歴

東近江市蒲生地区まちづくり協議会

がもう拠り所推進協議会

がもう夢工房協議会

NPO法人愛のまちエコ倶楽部

ハンドシェーク協議会

愛の田園星つむぎプロジェクト

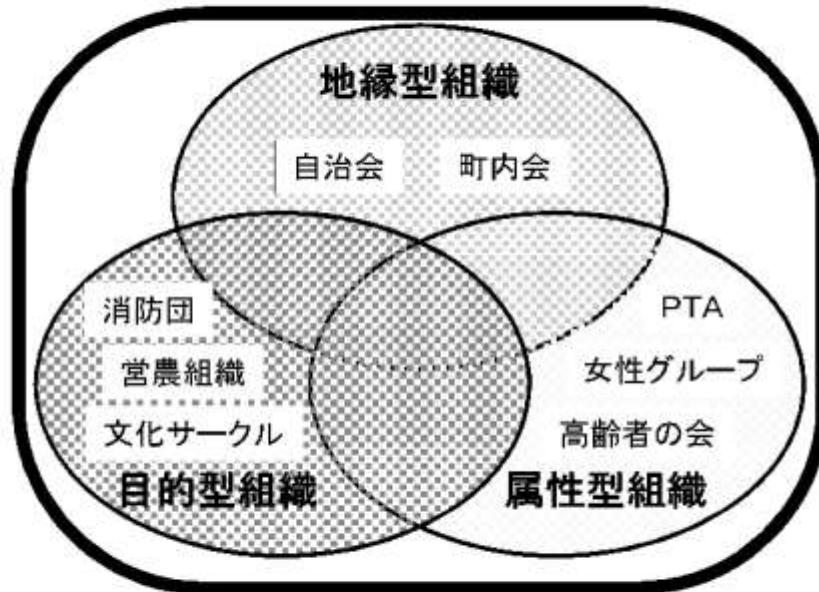
東近江市湖東地区まちづくり協議会

東近江市平田地区まちづくり協議会

甲賀市大原自治振興会 ← 業務ではなく
住民として参加 →

小規模多機能自治組織の基本的な考え方 (まちづくり協議会)

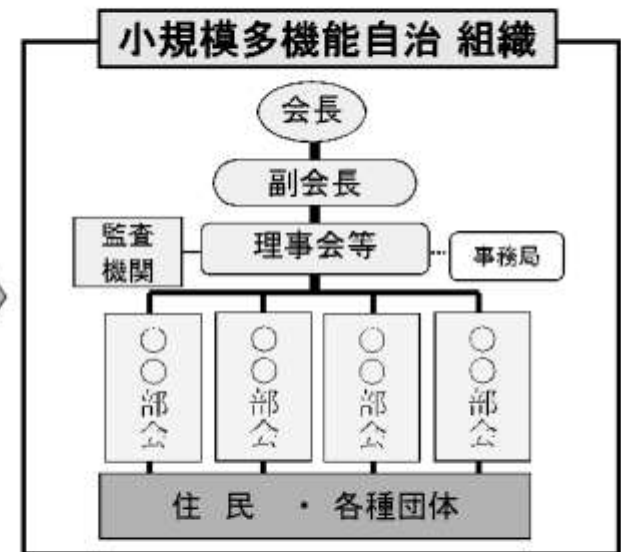
概ね(小)学校区域で
あらゆる団体が結集



～考え方～

“1世帯1票制”
ではなく

地域の総力を結集し、
地域課題を自ら解決！



地域の経営体
(住民自治のプラットフォーム)



小規模多機能自治組織の仕組み

小規模ながらも、	=概ね(小)学校区域
様々な機能をもった、	=分野横断し、統合
住民自治の仕組み	=住民の参画・協働

特徴

- 協(総)働の仕組み
 - ...市民一人ひとりの力を発揮する仕組み
 - ...自治の原点を取り戻す仕組み
 - ...参加だけでなく、参画につながる仕組み
- 自治体内分権の仕組み(全域対象)
- 人口減・少子高齢化にも対応する仕組み

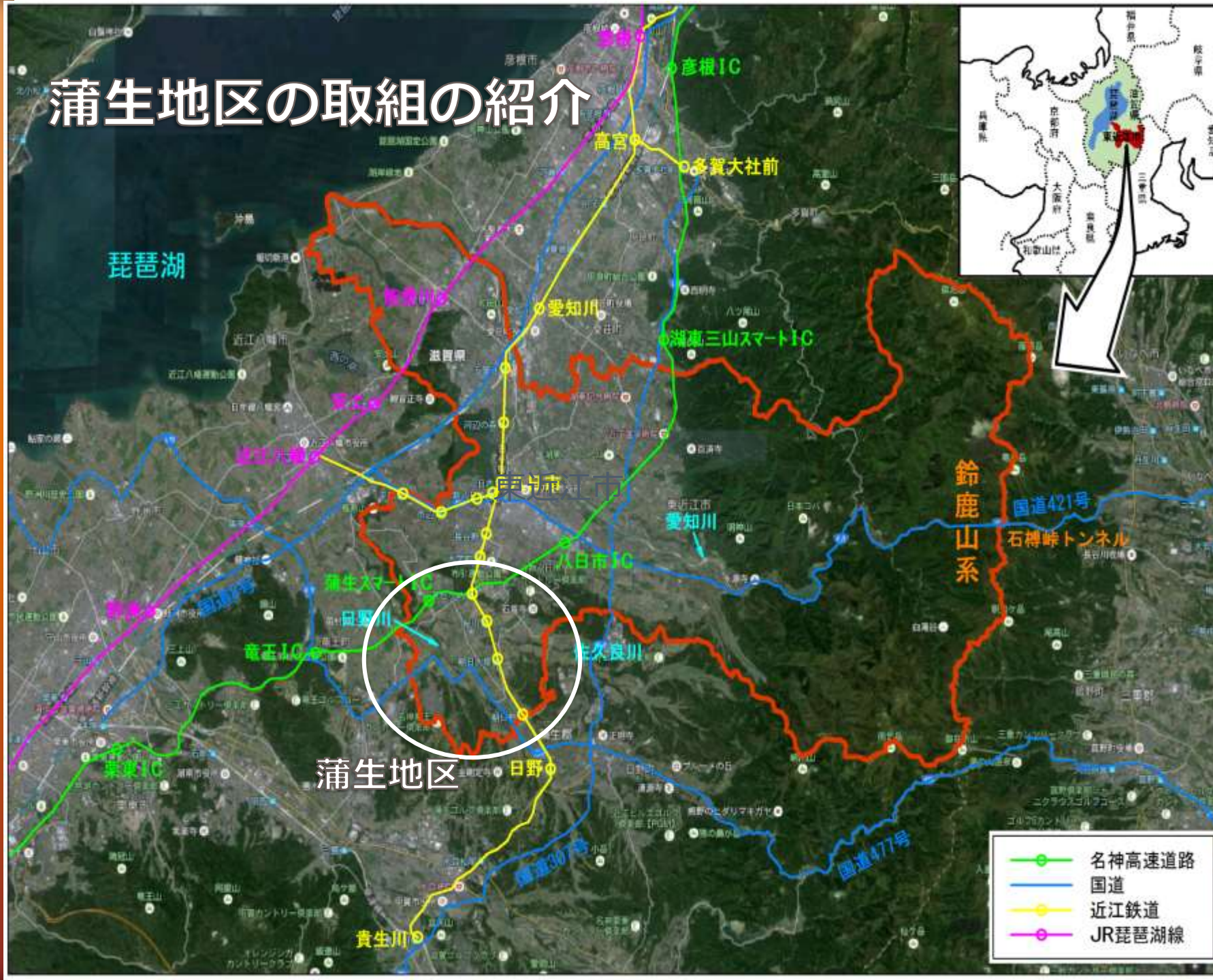
小規模多機能自治組織と自治会の違い

小規模多機能自治組織		自治会・町内会・区
・より広域的な区域	↔	・自治会等の区域
・一人一人が中心(総合力)	↔	・世帯主が中心
・行事よりも活動が多い (課題解決志向)	↔	・活動よりも慣習的行事が多い
・スケールメリットを発揮できる	↔	・より身近なので、まとまりやすい
・常勤スタッフ体制がある	↔	・常勤スタッフ体制はない

【まとめ】

- ・どちらが大事か、ということではなく、どちらも大事。
- ・基本的に、自治会等はその区域内、小規模多機能自治組織はその区域内での活動が基本となり、一般的優先度は補完性の原則による。

蒲生地区の取組の紹介



- 名神高速道路
- 国道
- 近江鉄道
- JR琵琶湖線

まちづくり計画改訂（H27.5）

H21年 5月 まちづくり計画策定

五年経過

「F：食」「E：エネルギー」「C：ケア」の
自給圏を目指し、多様な主体の参加と連携により
低炭素で持続可能な蒲生の実現という視点を加える



蒲生地区の主要メンバーとの意見交換(40名)

2030年の蒲生の将来像

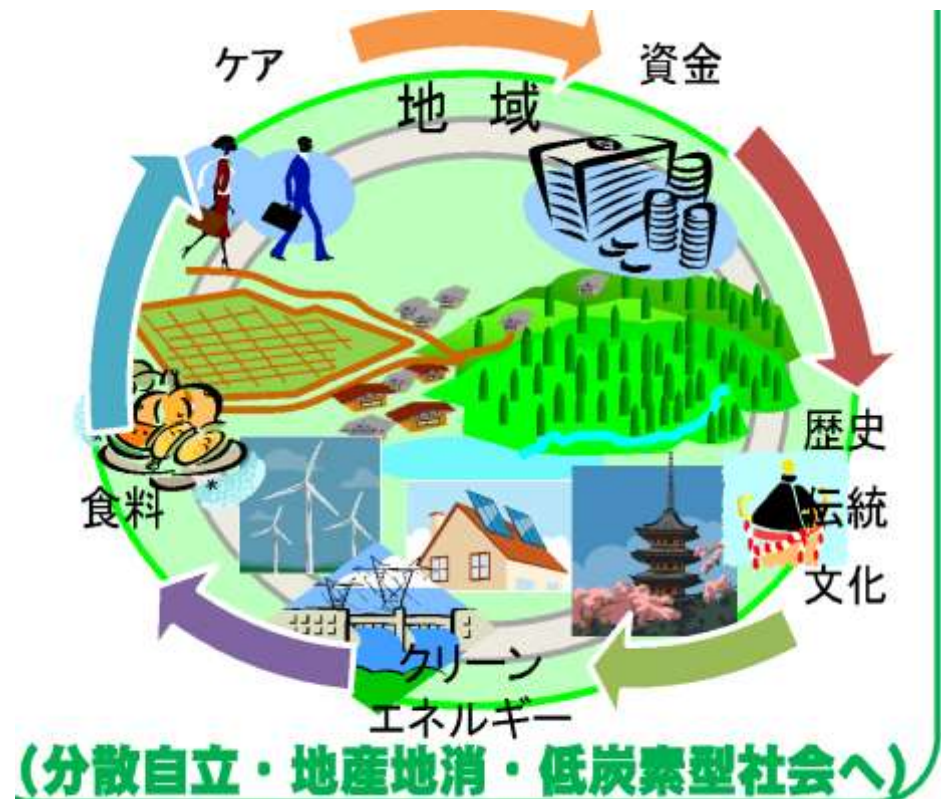
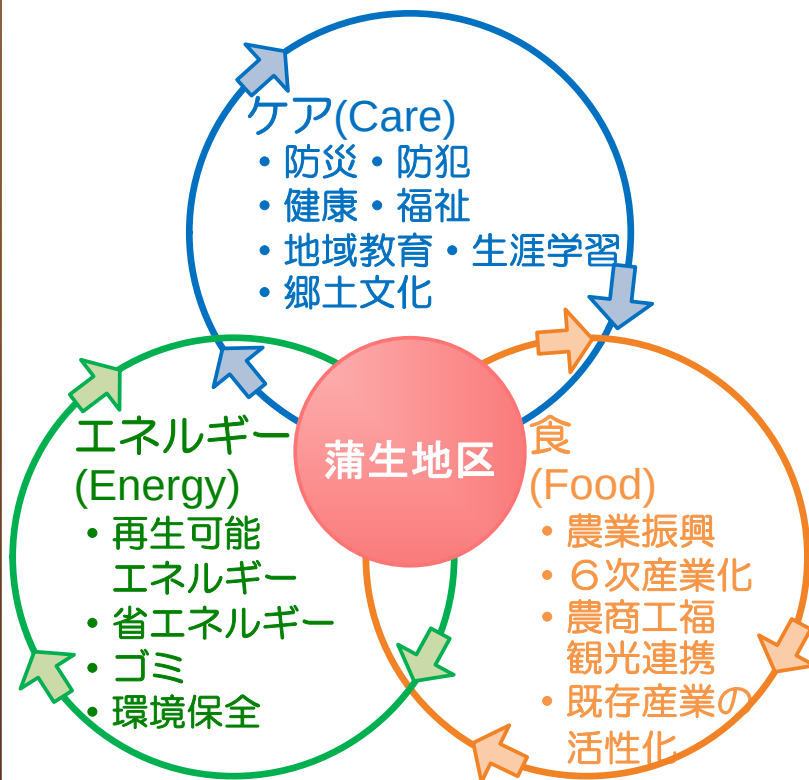
- ・めざしたいところ
- ・取組の骨子
- ・取組の時期・主体 等を改訂しました



中心目標

このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり

～「食」「エネルギー」「ケア」の自給圏をめざし、
多様な主体の参加と連携により、低炭素で持続可能な蒲生の実現～



基本方針

まちづくり計画基本方針

①安全・安心のまちづくり

②みんなが笑顔で暮らせるまちづくり

③環境と自然にやさしいまちづくり

④生きがいのもてるまちづくり

⑤誇りあるまちづくり

⑥活力あるまちづくり



新たな視点

ケア

エネルギー

ケア

食

みんなが笑顔で暮らせるまち：ケア（健康・福祉）

2030年蒲生の将来像

■蒲生医療センターを中心に高齢者が安心して暮らせるまち

蒲生医療センターにより、健康診断・訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ等地域に根ざした医療が提供されています。蒲生医療センターを中心に介護・福祉事業者と地域が連携でき、認知症ケアや看取、介護予防等の体制が充実し、高齢者が安心して暮らせるまちとなっています。また、健康診断の推進、健康相談、保健・栄養の指導、健康体操など、楽しみながらの健康づくりが盛んで、充実した老後の生活を送ることができています。

■誰もが集い活躍できる場の創出

2030年の蒲生地区は、昔ながらの家族の絆を基本に、向こう三軒両隣・組・自治会・地域の絆を大切にしており、お年寄り・障がい者・子育て中の親子・放課後の児童・学生など、いつでも誰でも気軽に集まれる場が、自治会公民館・空家などを利用して各地にできています。この集まりで一人ひとりの生活の中にある食事・見守り・子育て・移動支援等の困りごとを聞いてもらえ、それを住民で支え合う仕組みができています。これが、元気なお年寄りや障がいを持った人の活躍の場にもなり、生きがいとなっています。



■高齢化社会に対応した移動手段の確保

お年寄りは元気な人が多いとはいえ、自分で車を運転するのはちょっと・・・という人も増えてきました。そこで、自転車や公共交通のことを考えたまちをめざして、みんなの協力で送迎サービスを始めたり、ちょっとタクシーの改善を求めたり、公共公益施設につながる道では自転車が走りやすいようにしたり、といったことを、少しずつ進めてきました。もっと近場の移動には、電動アシスト自転車なども活躍しています。これまで自動車一辺倒だった道路も自転車がたくさん走っています。あわせて、歩行者や自転車などに配慮した施策や仕組みができ、交通事故も激減しています。

このように、医療・介護・福祉の地域包括ケアシステムの構築により、自治会や地域ごとに形成された住民主体の生活支援サービスのネットワークは、高齢者のみならず、子育て支援、障がい者福祉、生活困窮者支援にも貴重な社会資源となり、みんなが笑顔で暮らせるまちとなっています。



みんなが笑顔で暮らせるまちづくり

視点	基本方針	めざしたいところ	取組の骨子	具体例	取組主体			取組時期			活用できる施設・設備、器具等
					自治会	まち協	協働・連携	短期	中期	長期	
みんなが笑顔で暮らせるまちづくり ケア（健康・福祉）	・地域包括ケアの整ったまちづくり	・蒲生医療センターを核とした福祉施設等の連携強化	医療福祉関連団体の連絡・連携の強化（蒲生地区三方よし研究会など）、地域医療講座	○	○	東近江市、医療福祉関連団体					
		・蒲生医療センターと地域住民によるサポート体制づくりと実践	認知症・介護予防等の自治会への出前講座、小規模多機能型居宅介護施設・グループホームなど福祉事業所の設立・拡充	○	○	東近江市、福祉事業者					
	・楽しみながら取組む健康づくり	・予防活動の充実	健康診断の推進、健康相談、保健・栄養指導、健康体操（まち協音頭など）	○	○	東近江市・健康推進員協議会					
		・自転車利用の推進	自転車利用の環境整備、自転車専用道路の整備	○	○	東近江市					
	・地域のふれあいづくり	・子育て支援									
		・子育て支援関連施設の利用促進	施設運営のレベルアップ、来られない人のフォローアップ、新乳児家庭へのアプローチ強化		○	東近江市、東近江市社協、蒲生あかね福祉の会				子育て支援センター、おもちゃ図書館、つどいの広場えがお	
		・子育てサポーターの育成	子育てサポーター養成講座			東近江市					
		・高齢者、障がい者支援									
		・誰もが集い活躍できる場づくり	高齢者が集い活躍できる場、障がい者が集い活躍できる場、認知症・高齢者・障がい者の相互理解、いつでも誰でも気軽に集える場	○	○	医療福祉事業者、蒲生あかね福祉の会				自治会公民館、空家	
		・企画・運営スタッフの育成	生活支援コーディネーター研修		○	東近江市社協、蒲生あかね福祉の会、福祉事業者					
		・生活支援									
		・生活サポートをするしくみづくり	自治会や組単位で助け合えるしくみづくりや話し合い、自治会で身の回りの福祉を話し合う場、サポーターの仲間・生きがいをづくり、買い物支援、配食など生活支援の実践	○	○	東近江市社協、蒲生あかね福祉の会				自治会公民館、空家	
		・生活支援の拠点整備	自治会公民館、空家を利用した居場所づくりなど	○	○	東近江市社協、蒲生あかね福祉の会					
		・高齢化社会に対応した移動手段の確保	送迎サービス、公共公益施設・医療・福祉施設への公共交通（バス、ちよこっとタクシー）のアクセス向上	○	○	東近江市、蒲生あかね福祉の会				鉄道、バス、ちよこっとタクシー	

蒲生地区まちづくり協議会の推進体制

総 会

執行：役員会（本部役員、委員長・部長）

議決：自治会長、自治会まちづくり委員、各種団体
長

自治会まちづくり委員会

蒲生まちづくり会議

共同と連携

運営委員会

総会に代わる議決機関

企画会議

役員会

事務局・企画・立案

まちづくり
計画推進委員会

広報企画委員会

ふるさと蒲生野
川づくり委員会

委員会 (3)

ひだまり部会

ふれあい交流部会

エコランド部会

あかね部会

万葉ロマンの
里づくり部会

地域活性化部会

専門部会 (6)

連携と協働 の 組織体制

関係機関との関係

蒲生地区まちづくり協議会

自治会まちづくり委員会
(数回/年 開催)

自治会との連携強化

蒲生まちづくり会議
(随時開催)

蒲生地区の関係機関
との連携強化

蒲生地区自治会連合会
各自治会

東近江市
蒲生支所

蒲生地区の
各種団体

東近江市商工会
蒲生支部

J A 滋賀蒲生町

蒲生地区選出議会議員



ボランティア＋コミュニティビジネス 地域の支え合いのしくみづくりの例

がもう拠点所推進協議会



蒲生地区抛り所推進協議会

(平成27年6月16日設立)



- 1.蒲生地区まちづくり協議会**
(ふれあい交流部会)
- 2.蒲生地区自治会連合会**
- 3.蒲生地区民生委員・児童委員協議会**
- 4.蒲生あかね福祉の会**
- 5.蒲生地区ボランティア連絡協議会**
- 6.健康推進員協議会蒲生支部**
- 7.老人会クラブ連合会蒲生ブロック**
- 8.東近江市社会福祉協議会**





【まちづくり計画書 将来像に向けて】

- ・ **取組の骨子の具体的なアクションを実施**
本地区の人口減少、高齢化、多世帯化、地域包括ケアに対応するために、
 - 1) 身近なところで交流できる場所の創設
 - 2) 高齢者や障がい者、子育て中の人など支援を必要とする人を自治会、地区で支え合うしくみづくり
 - 3) 意欲と能力のある元気な高齢者が活躍できる場の創設
 - 4) 活動の持続性を確保するため、ボランティア＋コミュニティビジネスのしくみづくり



【将来目標】

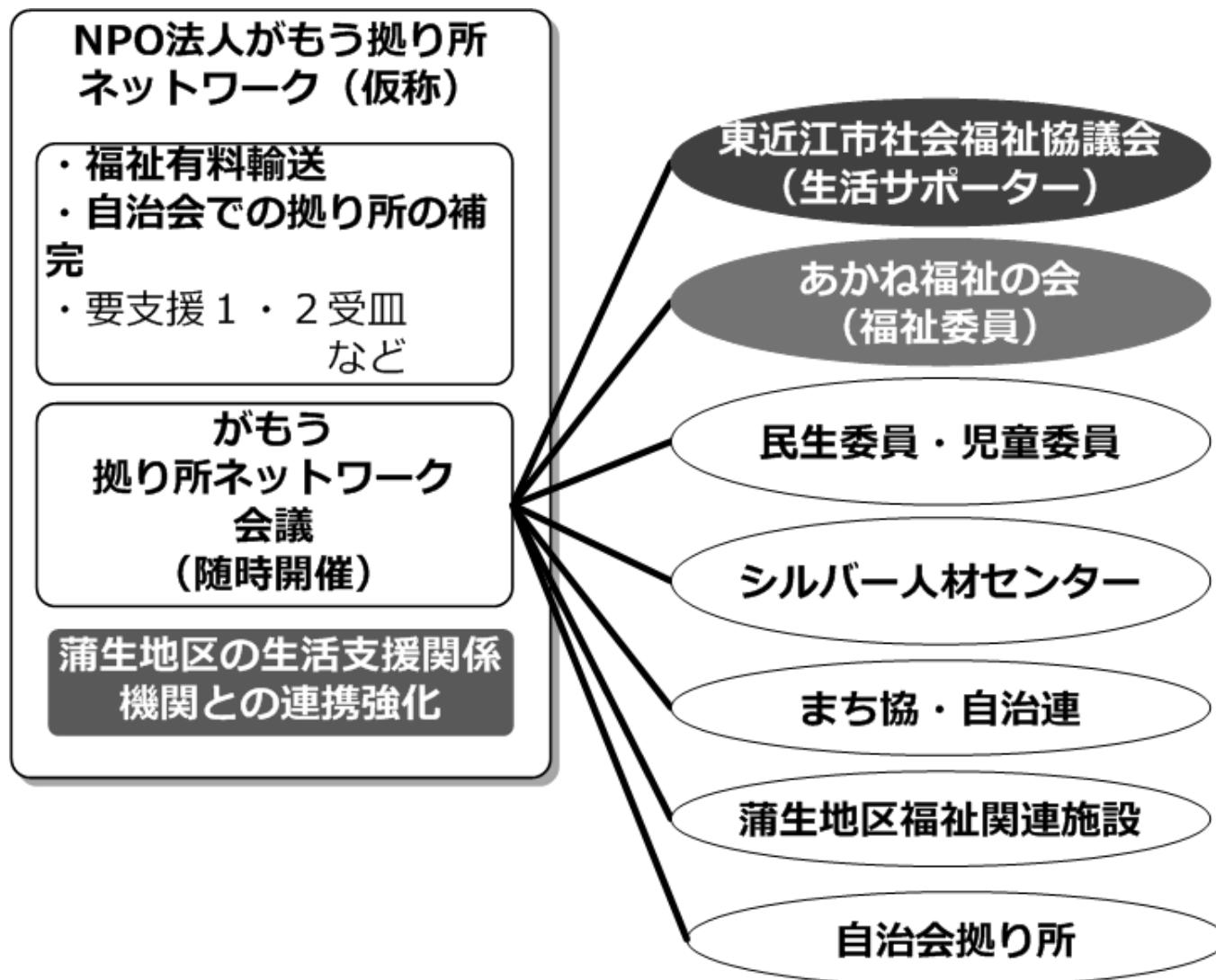
・まちづくりの基本単位である自治会単位の拠り所



【将来目標】

・自治会単位の抛り所を補完する

蒲生地区の生活支援のしくみ



平成27年度の活動経過



月	日	会議	内 容
4	15	事務局会議①	これまでの各自の動きと今後の方針
5	13	協議会設立準備会	協議会設立準備会
6	16	協議会①	協議会設立総会
6	21	自治会連合会説明会	蒲生地区自治会連合会説明会
7	1	事業開始	平成27年度東近江市がんばる地域応援事業 事業開始
7	12	住民説明会①	住民説明会、モデル地区募集
9	3	事務局会議②	モデル地区の応募状況とモデル地区選定のための選定委員会の設置について
9	16	事務局会議③	モデル地区の選定、今後の進め方と10/1協議会の内容について
9	29	事務局会議④	これまでの取組状況の報告と今後の予定について市と協議
10	1	事務局会議⑤	来年度の取組について
10	1	協議会②・研修会①	協議会 第1回研修会 なぜ今拠り所なのか：自治研究センター北川氏
10	19	モデル地区代表者会議①	モデル地区代表者会議：アンケート内容、今後の展開について
10	26	アンケート配布	「蒲生地区 地域の拠り所創造事業」に関するアンケート票配布
11	20	アンケート回収期限	「蒲生地区 地域の拠り所創造事業」に関するアンケート票回収期限
12	16	協議会③・研修会②	協議会 第2回研修会 アンケート結果報告 先行地区の事例研修：河内福祉委員会宮部氏
1	12	モデル地区代表者会議②	モデル地区代表者会議：今後の生活支援の展開について
1	29	協議会④・研修会③	協議会 第3回研修会 生活支援のしくみの事例研修：ほんなら堂野村氏
2	8	モデル地区代表者会議③	モデル地区代表者会議：報告会について
2	14	住民説明会②	平成27年度の活動報告会
2	26	協議会⑤	協議会総会 平成27年度の事業報告
2	28	事業終了	平成27年度東近江市がんばる地域応援事業 事業終了

住民説明会(7月12日)



- ・ 地域の拠り所創造事業の事業計画の説明
モデル地区の募集
- ・ 生活支援に係わる国の動きと先進地事例



平成27年度 掘り所モデル地区 (9月16日採択)



- 1.石塔1区 石塔一区公民館縁側カフェ8名
- 2.鋳物師 お互いさんのまちづくりの会9名
- 3.大塚 大塚掘り所事業 ワイワイ会11名
- 4.長峰 ほっとサロンをすすめる会5名



研修会1:なぜ今、拠り所なのか？ >>> (10月1日)



- ・これまでの経過とモデル地区の設定報告
 - ・なぜ今、拠り所なのか、成功のポイントは何か
- 滋賀地方自治研究センター 北川氏



成功のポイント

- ・ 行政はもうあてにならない、自分たちの安全・安心は自分たちでつくる
- ・ 拠り所のカフェは、高齢者サロンにあらず
- ・ 地域の実情に応じて、自分たち（地域）で「できること」と、住民の「やって欲しいこと」をつなげよう
- ・ ボランティアでは継続しない
- ・ 小商いのしくみづくり
- ・ 地域でできるちょっとした助け合い活動からスタート

研修会2：カフェの先行事例から学ぼう！ 米原市河内福祉委員会 （12月16日）



- ・これまでの経過とアンケート調査結果の報告
- ・先行地区 河内福祉委員会の活動について

宮部氏

研修会3：生活支援の先行事例から学ぼう！ あいとうふくしモール （1月16日）



- ・ 先行地区 あいとうふくしモールほんなら堂 野村氏
- ・ 蒲生における拠り所の今後の展開について
今後の展開について（事務局素案）
蒲生での支え合いについて意見交換



・手入れが行き届かない庭を
きれいにしたい

・車に乗れないのに
毎日通院どうしよう

・足が悪くて家事
ができない

暮らしの安心を応援する

ほんなら堂

「ほんなら堂」は、暮らしのちょっとした“困りごと”を、地域の力で支え合い、解決していく仕組みです。

例えば・・・

通院送迎



買物代行



お部屋の掃除



庭の草刈



おしゃべり



あいとうふくしモール運営委員会 ほんなら堂

電話：0749-46-2170 FAX：0749-46-2171

滋賀県東近江市小倉町 1975-2



ほんなら堂のしくみ

困っている人から連絡をうけ、コーディネーターがサポーターを紹介します



地域での助け合い活動を
支えています



利用料について

自宅での活動 例：掃除・洗濯 ゴミ捨て、草むしり等	500円/30分
送迎を伴う活動 例：通院送迎付添 買物送迎付添	付添費 1000円/30分 + 燃料代 20円/km + 保険料 20円/回

利用申込・お問い合わせは

電話：0749-46-2170

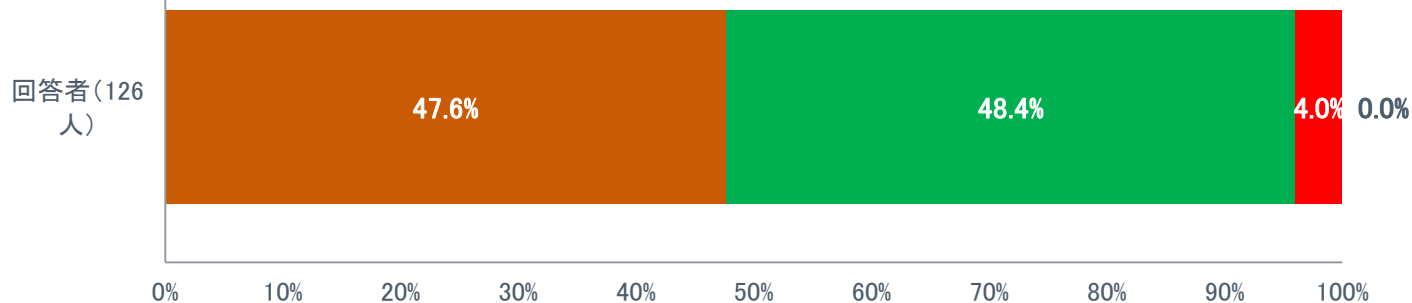
(受付時間：9:00~17:00)



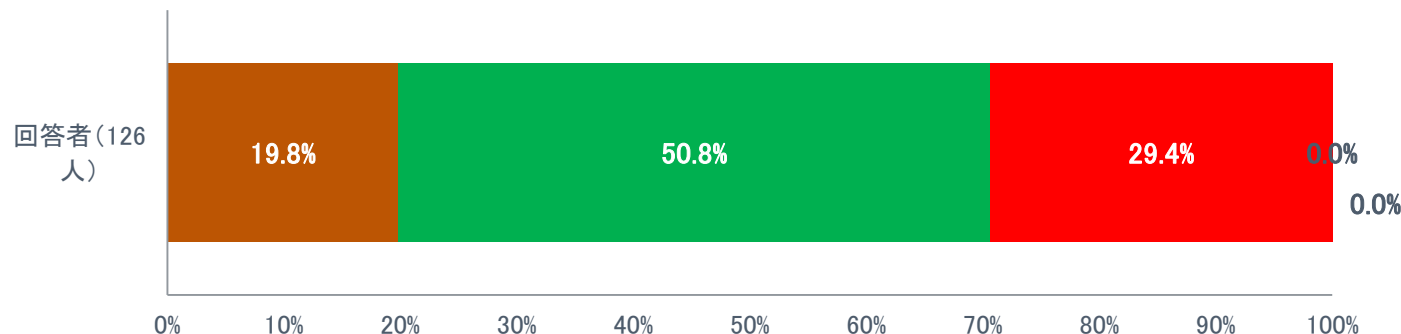
アンケート調査 回答者の属性 >>>

配布259人、回収226人（2010年70歳以上1,938人）

うち独居、高齢者のみ、昼間独居126人



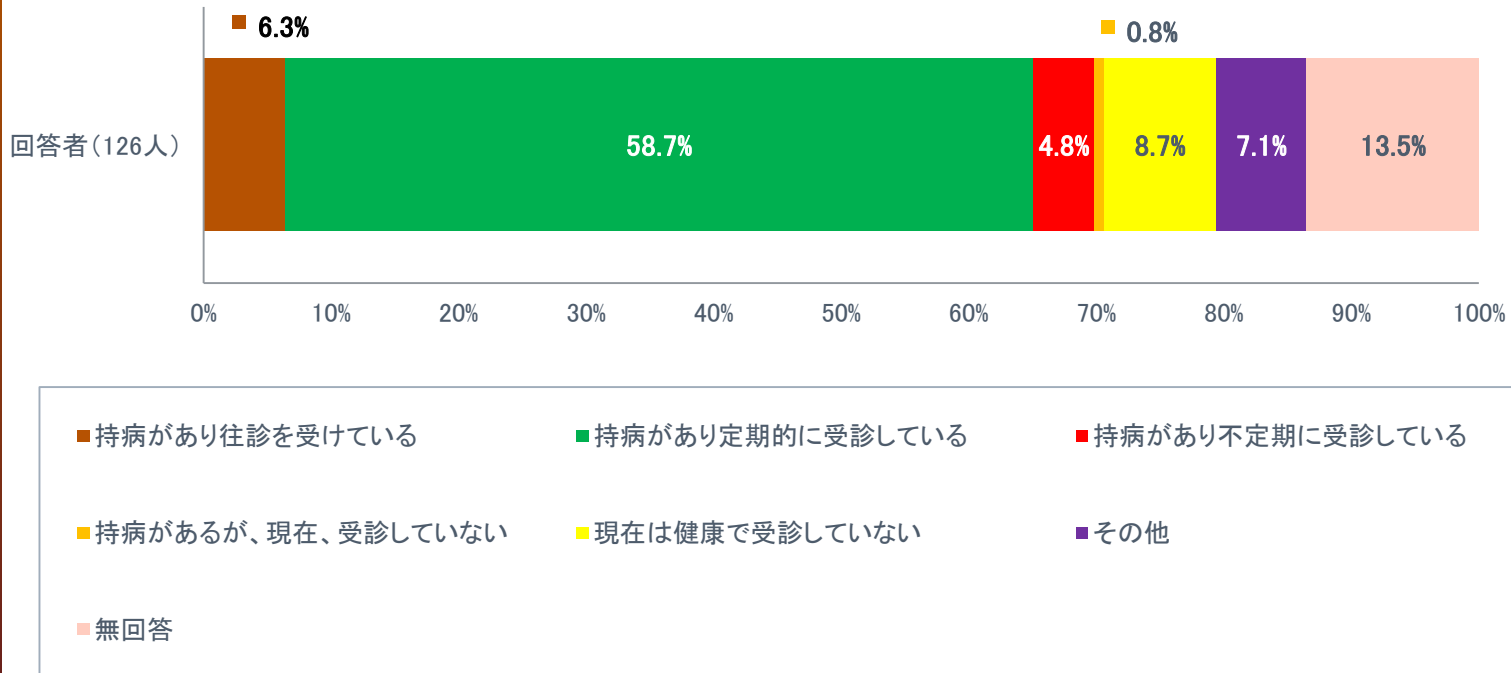
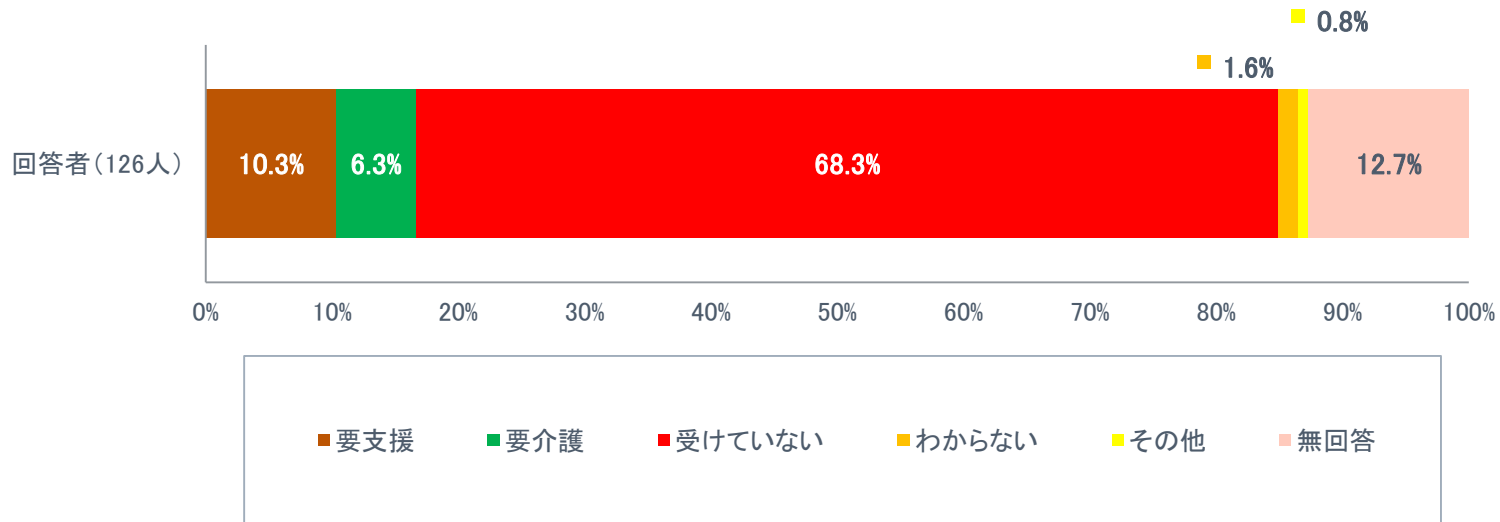
70歳代 80歳代 90歳以上 無回答



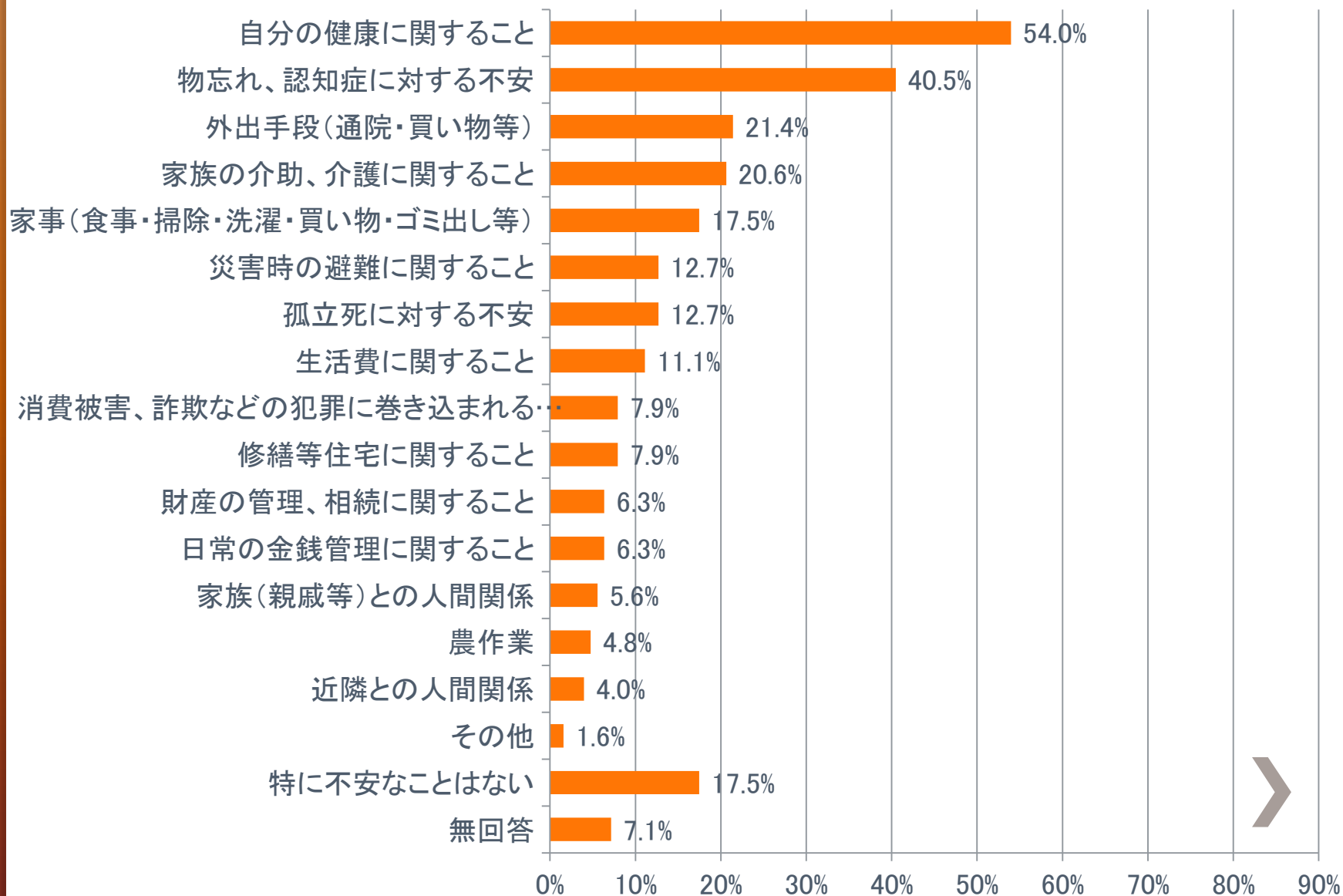
ひとり暮らし高齢者 高齢者のみ 昼間ひとり暮らし高齢者 その他 無回答



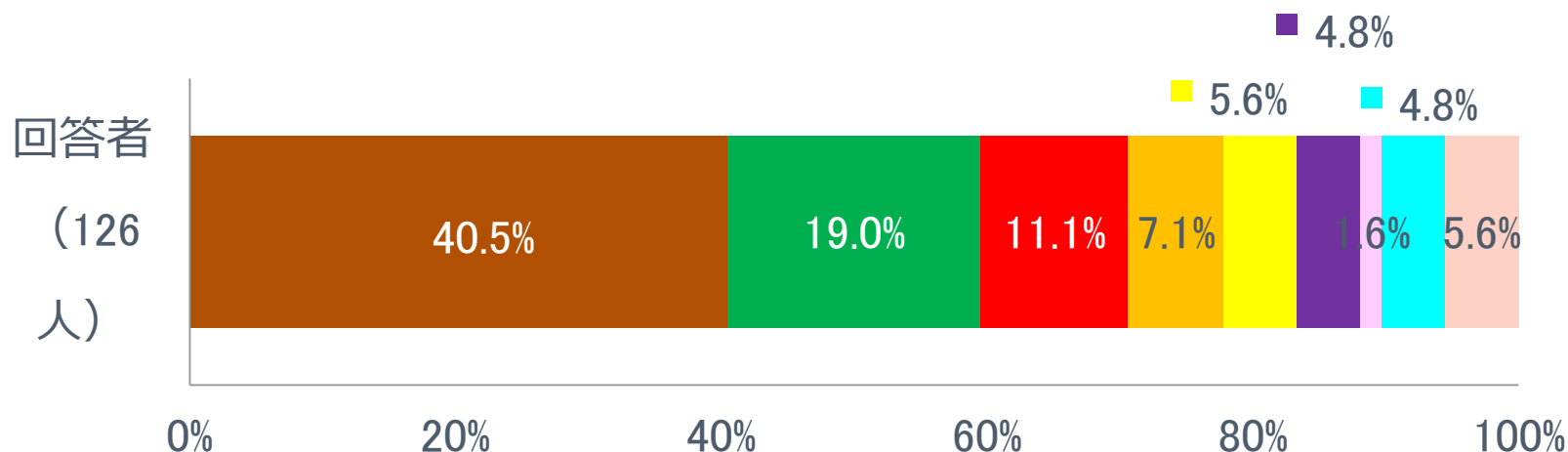
アンケート調査 回答者の属性 >>>



日常生活で困っていること、 不安に感じること



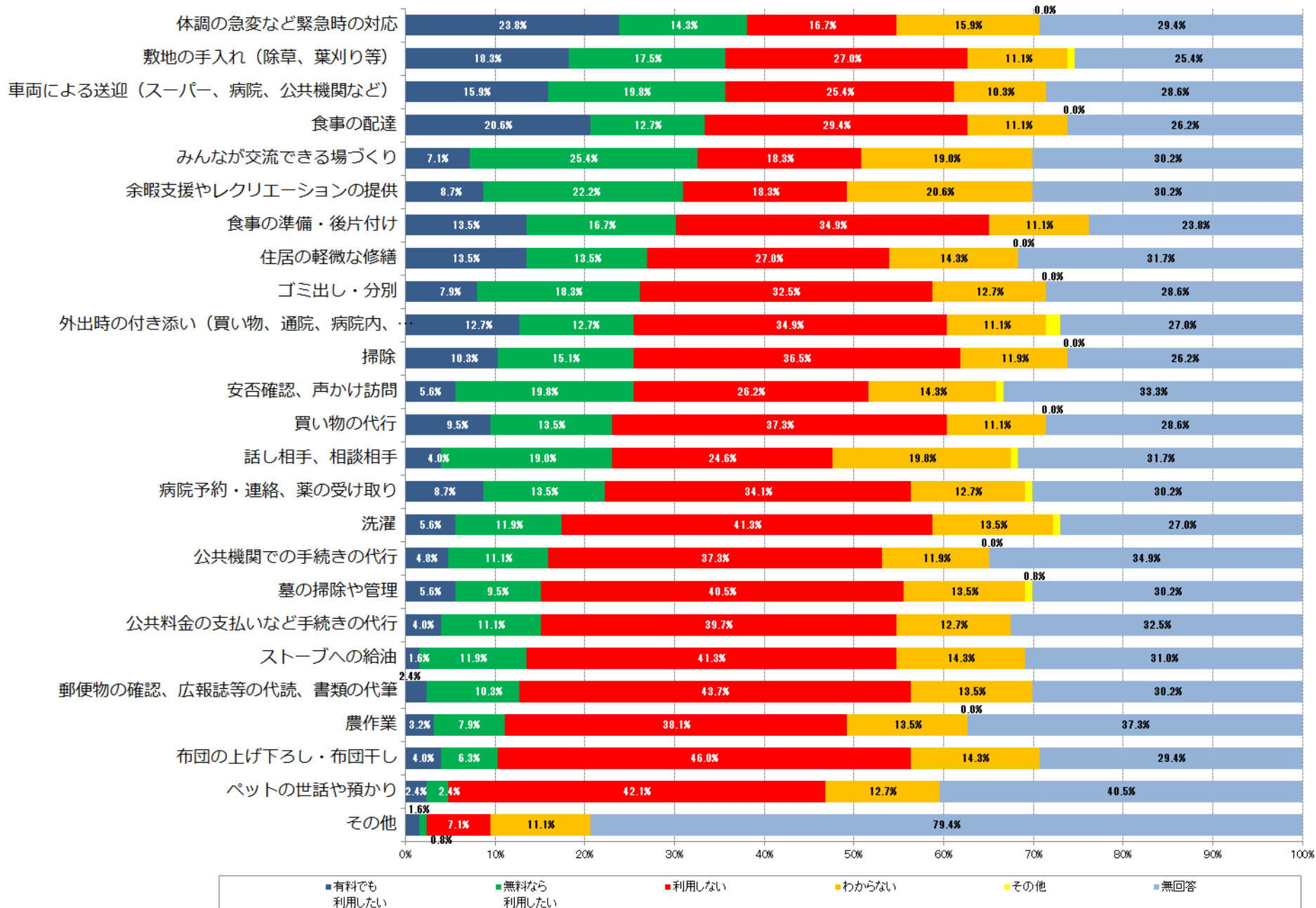
買い物に行く手段



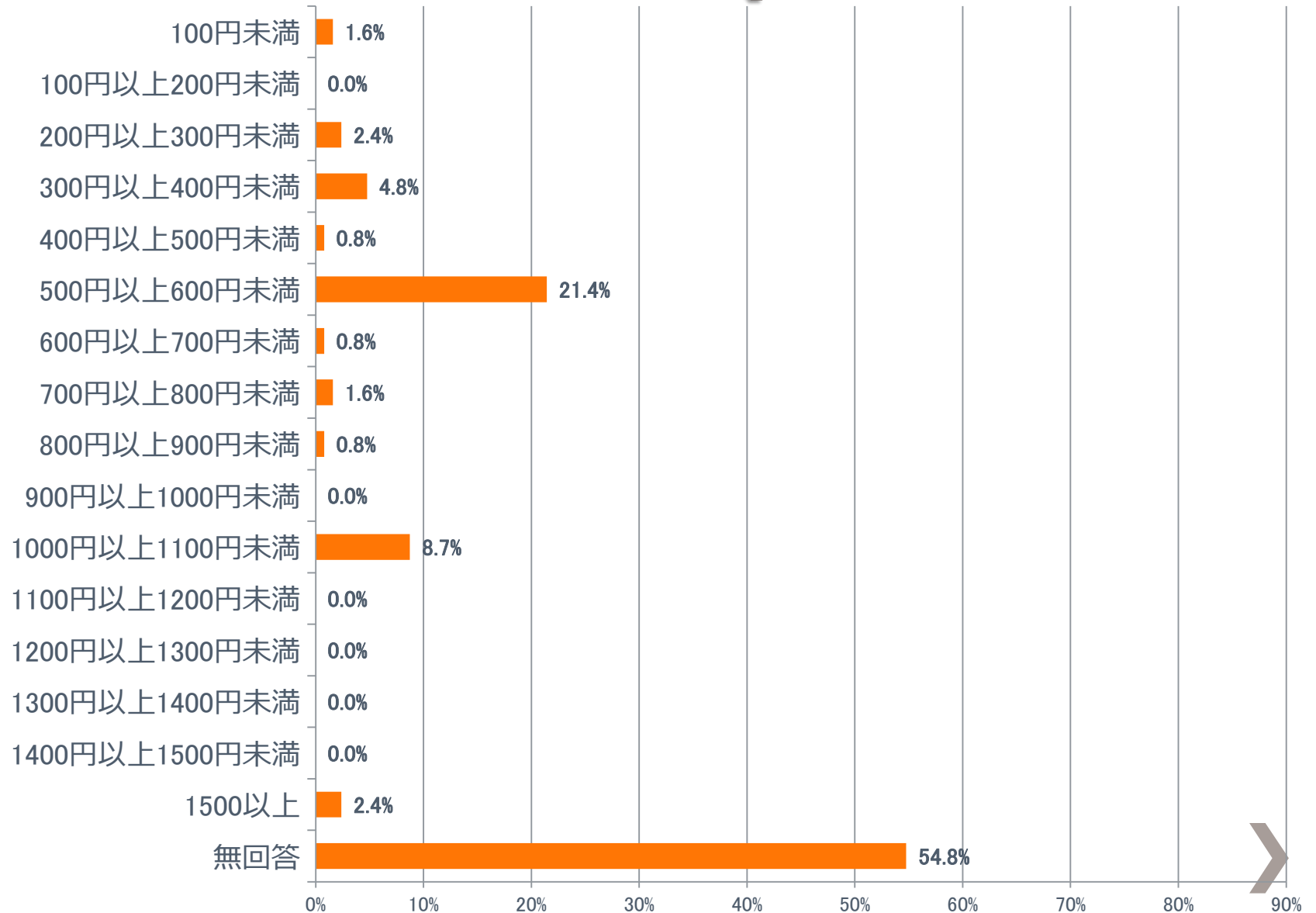
- 自分で運転する自動車
- 家族等が運転する自動車 (同乗)
- 自転車・バイク
- 行かない、行けない
- 徒歩
- バス・電車
- タクシー
- その他
- 無回答



日常生活で困ったときに利用したいと思うサポート



生活支援の支払い意志額(30分あたり)》》





石塔縁側カフェ（コーヒー・パンの販売）



保健師さんによる健康相談同時開設





宅配販売同時開店



報告会(2月24日)



- ・ 事業の経過、モデル地区の取組報告



平成28年度



- ・ モデル地区をさらに 4 地区
（資金は地区社協のサロン予算の 1 部を
抛り所事業へ）
- ・ 先行モデル地区で
有償の生活支援サービスの開始





コミュニティビジネス 都市農村交流のしくみづくりの例

がもう夢工房協議会



がもう夢工房とは？



がもう夢工房協議会（平成27年5月）

蒲生地区まちづくり協議会

J A 滋賀蒲生町

蒲生地区自治会連合会

東近江市まちづくり協働課・農業水産課



蒲生地区まちづくり計画に描かれた >>> 夢を実現するための第1アクションを開始！



食の6次産業化により農業ビジネスの盛んなまちづくり（地域活性化部会）
歴史観光が活発な文化の薫るまちづくり（万葉ロマンの里づくり部会）
多様な担い手により食を支える安定した農業づくり（地域活性化部会）

【まちづくり計画書 取組の骨子と具体例より抜粋】 >>>

- ・ 農村ビジネスの盛んなまちづくり（6次産業化）
 - ・ 加工品の開発、販売促進
 - ・ スモールビジネスの場の提供
 - ・ 地産地消の農家レストランの推進
-
- ・ 文化の薫るまちづくり
 - ・ 地域資源の見直し
 - ・ 歴史観光の推進
-
- 食を支える安定した農業づくり
 - ・ 働きたいを支える仕組みの構築





【3年後の目標】

- ・ 農村ビジネスの盛んなまちづくり⇒食の6次産業化PJ
- ・ 蒲生食のレシピ集、コミュニティカフェの開設、弁当などの加工品6種類の商品化・販売、定期的な蒲生マルシェの開設(年春夏秋冬4回)
- ・ 文化の薫るまちづくり⇒着地型観光PJ
- ・ 地域資源リスト、観光マップ、まち歩きコース・体験学習10コース程度、定期的なガイド付きまち歩き・体験学習の開催ガイド10名程度
- ・ 食を支える安定した農業づくり⇒農による働きたいを応援PJ
- ・ 定年退職者・生活困きゆう者などで構成する援農隊の設立・始動、障がい者による観光ぶどう園の始動

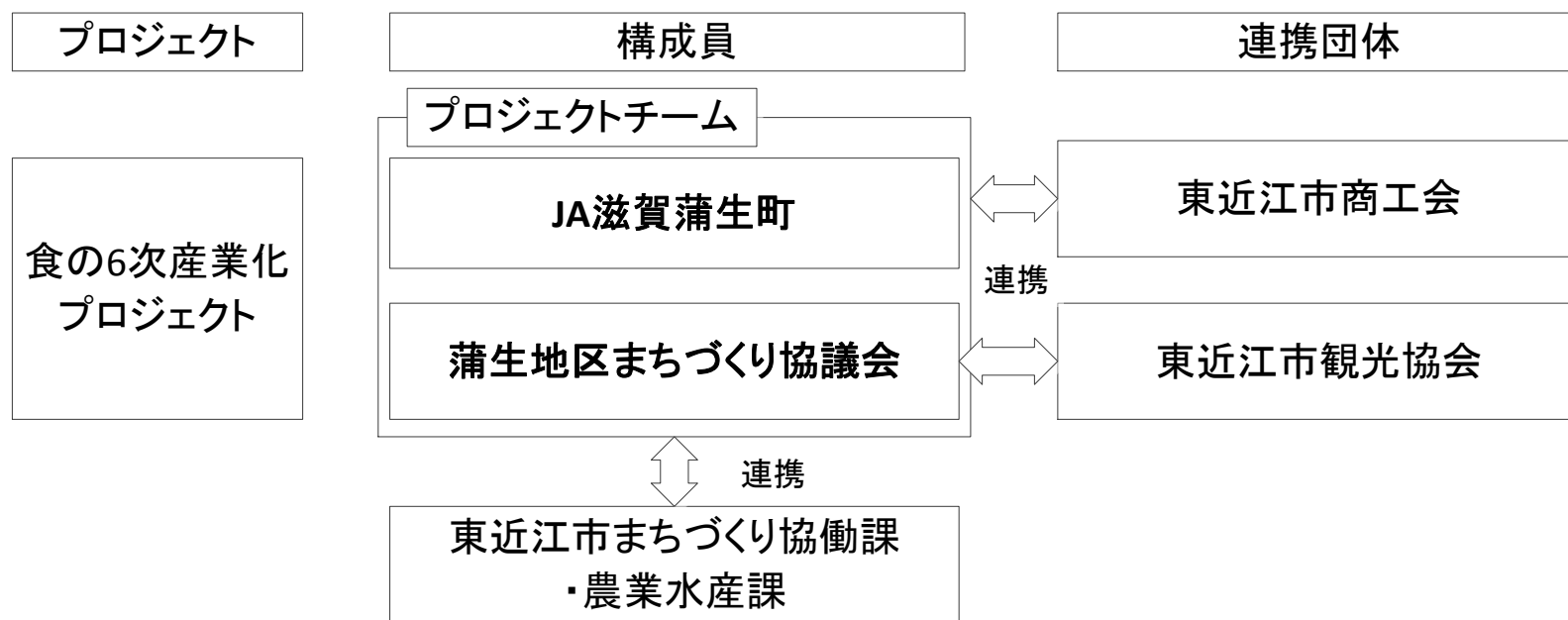




農村ビジネスの盛んなまちづくり

⇒食の6次産業化PJ

既存計画の直売所・農産物加工所・地区の農商工業者との連携を視野に、地域全体で食の6次産業化を進め、都市と共生・対流できるしくみを構築する。



マネージャー

JA滋賀蒲生町

村井 隆志

サブマネージャー

蒲生地区まちづくり協議会

佐川 昭子

(JA6名、まち協3名のプロジェクトチーム)





STEP1 : 蒲生食の文化祭やヒアリング等による
食に関する地域資源の発掘



STEP2 : 都市住民に提供する新たな地元食、
特産品の開発・検討



STEP3 : コミュニティカフェの試行、開始
特産品の試作試売
マルシェの試行、開始





農業ビジネスの盛んなまちづくり

CO-GAMO CAFE&MARCHÉ:

1DAYシュフ、がもう食のレストラン&カフェ、特産品の試行販売、マルシェの試行等による
コミュニティビジネスの起業支援

がもう食レシピ集

蒲生食材を使った
メニューの策定



特産品の開発

6品

田園
おにぎり弁当



紅白おはぎ



おかず味噌



あかね
美肌弁当



あかねの
夕日ゼリー



元気ぱっぱ



食の文化祭

春夏編、秋冬編を開催



食に関する地域資源の発掘調査

みずかがみ
羽二重橋

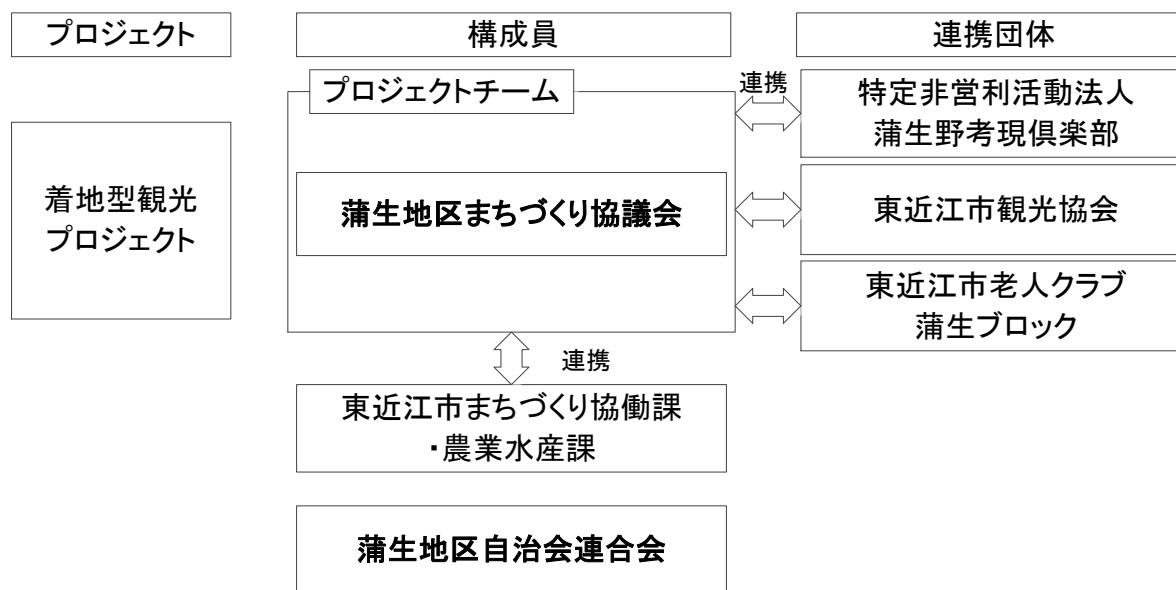
錦大豆
丹波黒豆
白小豆

佐久良川みそ





・文化の薫るまちづくり⇒**着地型観光PJ**
ガリ版伝承館、野口謙蔵記念館、雪野山等の地域資源との
連携を視野に、地域全体で着地型観光を進め、都市と共生・
対流できるしくみを構築する。



マネージャー

サブマネージャー

蒲生地区まちづくり協議会

蒲生地区まちづくり協議会

(蒲生野考現倶楽部)

(まち協7名、JA1名のプロジェクトチーム)

奥野 秀雄

中野 雅夫





STEP1 : 地域資源調査 (資料再収集・リスト化、
古文書の記録ど)



STEP2 : まち歩き・体験のコース設定
観光マップ作成
ガイド養成講座



STEP3 : ガイド付きフットパスウォーク、
体験試行





歴史観光が活発な文化の薫るまちづくり

CO-GAMO CAFE:着地型観光の企画立案、古民家の活用、
食の6次産業化PJとの連携(弁当・みやげの提供)、レンタサイクル
観光協会・エコツーリズム協議会・近江鉄道等との連携、農家民宿の推進

着地型観光試行(ガリ版祭り11/20)、ガイド養成講座
観光マップ作成、ホームページ開設、情報の発信(H28年度)

着地型観光のコース設定

3コース

田園風景とくらし

(農業・農村体験)



田園:稲作体験、稲作学習
田園弁当など



ガリ版芸術村

(芸術体験)



ガリ版伝承館:ガリ版企画展
ガリ版体験、音楽会、
蒲生食の提供など

古民家&お寺

(癒しの体験)



梵釈寺:座禅、野点、ヨガ、写
精進料理、里山歩き
野口忠蔵本家:かまどごはん
蔵カフェ、田園御前など

地域資源調査



蒲生野



ガリ版伝承館



野口謙蔵



梵釈寺



あかね古墳公園

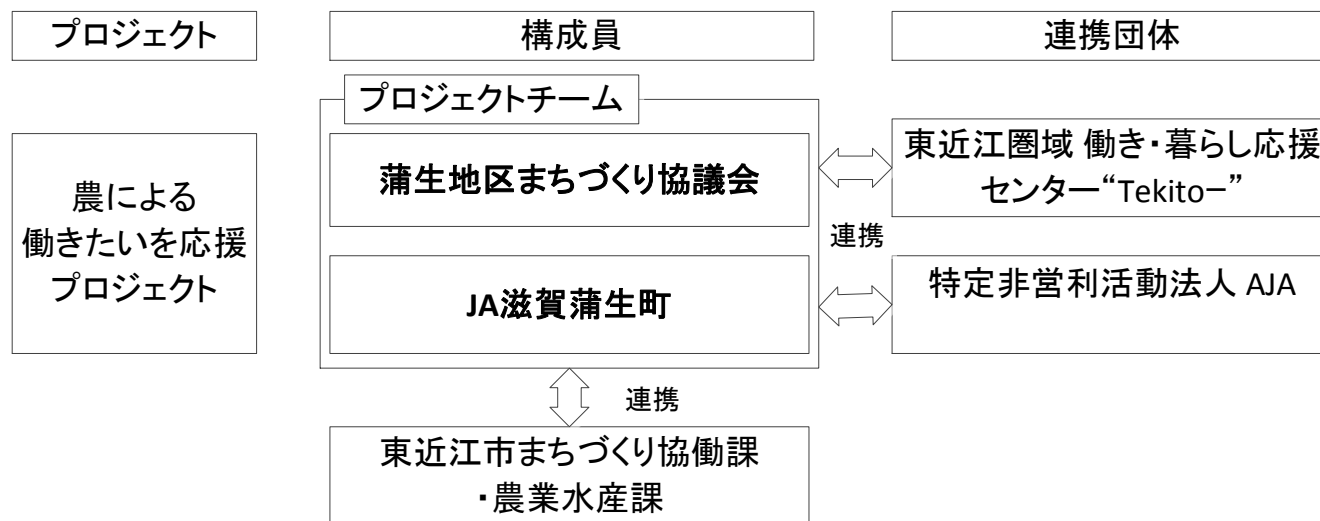


・食を支える安定した農業づくり

⇒農による働きたいを応援PJ



農の担い手不足の解消と農による非農家の定年退職者、障がいを持つ方、引きこもり等の生活困きゅう者の働きたいをマッチングするしくみを構築する。



マネージャー 蒲生地区まちづくり協議会 的羽 新一
サブマネージャー 蒲生地区まちづくり協議会 森 範巳
(まち協4名、JA1名、アグリ蒲生1名のプロジェクトチーム)





STEP1 : 営農組合、農業法人、農家などへの
ヒアリング・アンケート調査より
援農隊のニーズ調査



STEP2 : 援農隊の試行、
障がいを持つ方等による観光農園の試行



STEP3 : 非農家の定年退職者、障がいを持つ方、
引きこもり等生活困きゆう者など
による援農隊のしくみづくり





多様な担い手により食を支える
安定した農業づくり

CO-GAMO CAFÉ:人材バンク的機能

非農家定年退職者による援農隊の試行

(キャベツの生産支援
× 定年退職者の生きがい)



就労継続支援事業所による
ぶどう園の再生と
観光ブドウ園の試行

(ブドウ園の再生 × 就労継続支援)



就業準備中の
若者による
援農隊の試行

(草刈支援 × 中間的就労)



農家のニーズ調査

認定農業者、農事組合法人役員、特定農業団体役員を対象に
農業作業サポートに関する意向調査
→ 草刈、キャベツの生産補助、耕作放棄の管理など

定年退職者

障がいを持つ方

引きこもり等の
生活困きゅう者

